

- 「安心して生活できる村」を目指して、官民の垣根を超え、組織を設立。村の抱える課題解決のため、6つの部を設けて、生活、産業、福祉といった様々な活動に総合的に取り組む。

### 基本情報

- 所在地：高知県三原村
- 主力商品・イベント：
  - ・三原米、刺身こんにゃく、ししとう、店舗運営（田舎料理レストラン）、コインランドリー、体験ミニツアー（古木めぐりなど）、ふれ合い活動（婚活イベント、健康セミナーなど）、販売イベント（村外で出張販売）
- 活用した支援施策：
  - ・高知県政策「小さな拠点づくり構想・集落活動センター」

### 取組の概要

- 店舗部：地元食材で日替定食を提供する田舎料理レストラン運営。弁当販売も実施。
- 福祉支援部：生きがいづくり。各種イベントの実施。コインランドリー運営。
- 特産品販売促進部：食文化を引き継いだ商品の掘り起こしや開発。イベント販売等。
- 移住促進部：移住者と村民の交流会実施。移住促進住宅の指定管理。
- 生産部：ししとうのハウス栽培、三原米のブランド化を農事組合法人や研究会で実施。
- 観光部：村の資源を掘り起こして体験ミニツアー（古木めぐり、皿鉢づくり等）を実施。



やまびこカフェ

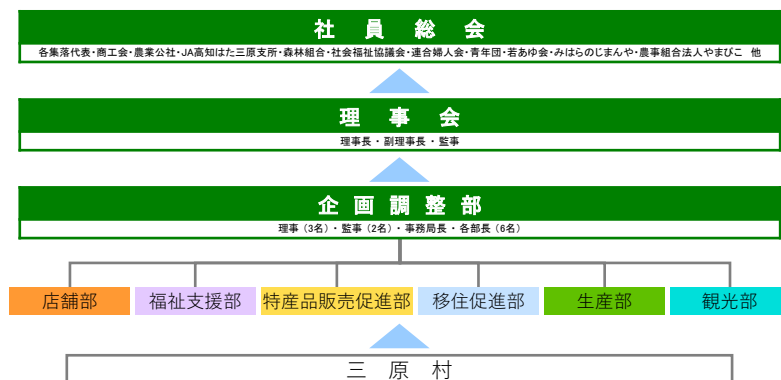


コインランドリー



ブランド米「水源のしずく」

### 体制図



### 取組の成果

- カフェ来客数：12,432人（H29）→ 13,119人（R1）
  - コインランドリー売上：1,426千円（H29）→ 1,852千円（R3）
  - 特産品販売売上：104千円（H29）→ 3,990千円（R1）
- ※カフェ来客数や特産品販売売上は、R2以降は新型コロナウイルスの影響あり。

# 特定非営利活動法人 NPO砂浜美術館

地域資源：景観(自然)、農林水産物、スポーツ施設、防災文化  
事業分野：観光、旅行業(宿泊手配等)、教育、スポーツ、芸術  
事業主体：NPO、集落活動センター、ボランティア、大学

○砂浜などの自然及び周辺のスポーツ、宿泊施設を地域資源とし、アートイベント、スポーツツーリズム、防災学習体験等の実施を通じ、関係人口創出を実現。ありのままの自然を、視点を変え、切り口を工夫することで活用。

## 基本情報

- 所在地：高知県黒潮町
- 選定表彰：
  - ・2016サントリー地域文化賞（H28）
  - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（農泊賞）（R5）
- 主力商品・イベント：
  - ・観光、アートイベント
  - ・スポーツ合宿・大会
  - ・旅行業(宿泊手配等)、産業体験
  - ・防災学習プログラム
- 活用した支援施策：
  - ・日本版DMO登録（観光庁）（H30.12～R5.3）

## 取組の概要

- 4kmの砂浜を美術館に見立て、四季折々のアートイベントを開催。町外からの運営ボランティアの宿泊と食事を中山間地にある集落活動センターから提供することを通じ、地元住民との交流を推進。
- 砂浜に隣接したスポーツ施設を活用し、地元の宿泊・弁当等の手配を組み込んだ合宿や大会を開催。
- 南海トラフ巨大地震の津波予測の公表をきっかけに防災学習プログラムを開発し、主に中高生の教育旅行を受入。
- 大学と連携した黒潮町産業連関表の作成により地域経済の現状を可視化。砂浜美術館を核とした新しい経済循環づくりに貢献。



Tシャツアート展



ボランティアスタッフと  
地域住民の交流



海の脅威を学ぶ  
防災学習プログラム

## 体制図



## 取組の成果

- 宿泊者数：
  - 12千人（H30） → 14.3千人（R4）
- スポーツツーリズム弁当売上：
  - 7.7百万円（H30） → 9.5百万円（R4）
- 防災学習プログラム体験者数：
  - 4人（H30） → 405人（R4）

ウェブサイト▶<https://sunabi.com/>

- 「耕作放棄地の活用、地域の活性化、雇用の創出」を目指し、ぶどう栽培に向かないとされる高知県において、地域の気候・風土に適したぶどうの栽培とワインの製造・販売を展開。ワインと食を軸とした関係人口の創出を図る。

## 基本情報

- 所在地：高知県香南市
- 選定表彰：
  - ・高知県地場産業大賞 地場産業賞（R6）
  - ・日本ワインコンクール2023 銅賞（R5）
  - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定（R5）
  - ・Terroir.awards2023 新進気鋭賞（R5）
  - ・日本山ぶどうワインコンクール 赤ワイン部門 茜賞（R5）
  - ・高知県地場産業大賞 奨励賞（R1）
- 主力商品・イベント：
  - ・ワイン、地域食材利用加工品
- 活用した支援施策：
  - ・第4期高知県産業振興計画 物部川地域アクションプラン（県産業振興推進総合支援事業）（R2）

## 取組の概要

- ぶどう生産に使用する石灰を取り扱う企業が、県内7市町の耕作放棄地を活用し、ぶどうの栽培と、ワイン製造事業を展開。
- ぶどうは高知の高温多湿な気候・風土に適した品種とし、地元農家と協力して栽培。
- 高知大学との連携により、地元名産の「かつおのたたき」との相性を調査。「『かつおのたたき』に合うワイン」としてPR。地域食材とのコラボレーションにより、県内での宿泊など、滞在需要を喚起。
- ワイン会員制度「TOSAワイン同盟」を運営し、会員向けの収穫体験など、地域外との交流も促進。
- 集落活動センターを拠点とし、老人クラブや地元高校生に収穫・ラベルづくりの機会を設けるなど、地域活性化にも貢献。



地域の方々との収穫作業



ワイン醸造所内



高知県産のぶどうを使ったワイン

## 体制図



## 取組の成果

- 売上 : 6.9百万円（H30） → 75.2百万円（R5）
- ぶどう圃場数 : 4箇所（R3） → 7箇所（R5）
- 醸造所・販売店（R4開設）の来場者数 : 50,000人/年（R4）

ウェブサイト▶<https://www.tosawine.com/>

## 大正町市場協同組合

地域資源：農林水産物（鰹）

事業分野：食品、観光・旅行、環境

事業主体：商店街、町、観光協会、空港 等

○大正町市場で販売される鰹を全て鮮魚店が選別するとともに、町や協議会と連携したブランディングやPR等による認知度向上を図ることにより、漁価の向上と市場への来訪者増加を実現。

## 基本情報

- 所在地：高知県中土佐町
- 選定表彰：
  - ・第11回「ディスカバー農山漁村の宝」ビジネス・イノベーション部門特別賞（R6）
- 主力商品・イベント：
  - ・鰹
- 活用した支援施策：
  - （なし）

## 取組の概要

- 低価格で取引されていた生食用の鰹を、鮮魚店が選別を行うことで、漁価の向上を実現。
- 町や観光協会と連携し、地域の鰹を「鰹乃國」としてブランド化し、クラウドファンディングによる空港への鰹のオブジェの設置、県内外での鰹のタタキの実演販売、大都市圏の百貨店での販売、オンラインイベント、メディアへの露出等を通じて認知度を向上させ、市場への来訪者が増加。
- 生食不可の部位は、串焼きや総菜、地魚の漁の餌、農業用の肥料として地域内で有効活用する「鰹エコシステム」に取り組む。



品質保証された鰹のタタキ

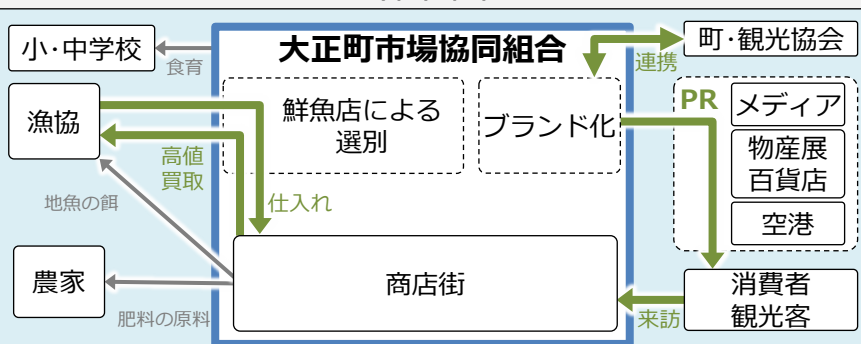


県内外からの来客で賑わう久礼大正町市場



空港の手荷物受取所に設置された鰹のオブジェ

## 体制図



## 取組の成果

|                |               |              |
|----------------|---------------|--------------|
| ○ 鰹の漁価(1kgあたり) | : 約200円 (取組前) | → 約500円 (R6) |
| ○ 大正町市場訪問者数    | : 約11万人 (R3)  | → 約40万人 (R5) |
| ○ 冷凍鰹の販売       | : 0t (R3)     | → 2t (R6)    |
| ○ 百貨店フェアでの売上   | : 495万円 (R5)  | → 612万円 (R6) |
| ○ メディアでの紹介     | : 76件 (R4)    | → 170件 (R5)  |

ウェブサイト▶<https://xn--3iqz5v2uac6ljot32netg.com/>

○平成29年に法人化。カーネーションを年間約72万本生産するほか、加工品製造や体験農園、花のオーナー制度などを通じて関係人口の拡大に貢献。コロナ禍を転機に、新たな地域の産品として唐辛子生産を開始。

### 基本情報

- 所在地：佐賀県唐津市
- 選定表彰：
  - ・佐賀県花き園芸共進会 農林水産大臣賞（H27）
  - ・佐賀農業賞 九州農政局長賞（H26）
  - ・全国青年農業者会議 経営局長賞（H19）
- 主力商品・イベント：
  - ・カーネーション、唐辛子の加工品
  - ・唐津花の大学
  - ・航空会社とコラボしたギフト商品
  - ・唐津ピリカラ協会発足イベント
- 活用した支援施策：
  - ・さがアグリヒーローズ（さが農村イノベーション推進事業）
  - ・さが農村ビジネス支援事業

### 取組の概要

- 花のオーナー制度「唐津花の大学」を開設し、県内外から受講生（オーナー）が参加。
- カーネーションを活用した加工生花、フラワーボックス等の販売、体験農園等を展開。
- 新たに唐辛子の生産を開始し、加工品を開発・販売。県内の唐辛子生産農家、飲食店等を会員とした「唐津ピリカラ協会」を発足し、新たな産品として定着を目指す。
- 花き、唐辛子の生産・出荷調整作業の一部を福祉事業所と連携。
- 『協業』をキーワードに、契約栽培の推進、農地や雇用の課題解決への取組を進める。



唐辛子加工品

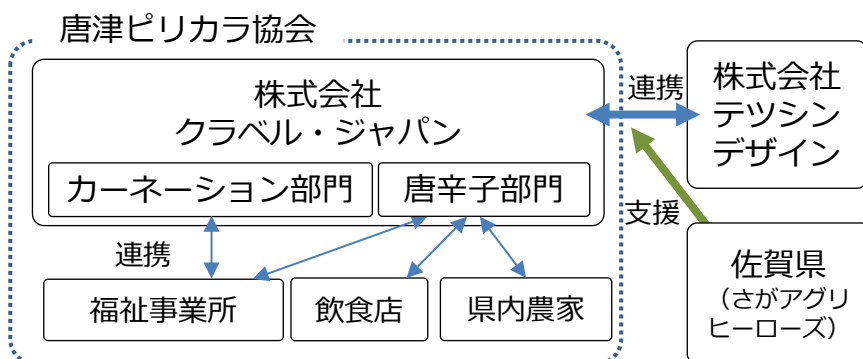


唐津ピリカラ協会



唐津花の大学

### 体制図



### 取組の成果

- カーネーション：フラワーボックス等ギフト商品 10種類
- 「唐津花の大学」受講生 のべ53組（R1～3）
- 福祉事業所との作業連携（雇用創出） のべ12事業所180名
- 「唐津ピリカラ協会」による地域活性化（生産者と飲食店との連携）

ウェブサイト▶<https://clavel-japan.jp/>

- 6次産業化の取組（耕畜連携、乳製品の加工・販売、カフェ運営）を進め、繁閑分散による業務負荷の平準化を通じて、従業員の柔軟なシフト計画と完全週休二日制を実現し、就労希望者が増加。
- 廃棄されていたホエイ（乳清）を活用した商品開発により、収益性向上を実現。

### 基本情報

- 所在地：佐賀県嬉野市
- 選定表彰：
  - ・ WORLD CHEESE AWARDS 2019 銅賞（R1）
  - ・ 西九州観光まちづくりアワード 特別賞（R4）
  - ・ 全国優良経営体表彰 6次化部門 農林水産大臣賞（R6）
- 主力商品・イベント：
  - ・ 乳製品（チーズ、ドリンク等）、パン
- 活用した支援施策：
  - ・ さがアグリヒーローズ（R1～4）（さが農村イノベーション推進事業）
  - ・ さが農村ビジネス支援事業（R3）

### 取組の概要

- 水田で栽培した麦や稲を飼料として酪農を行い、自社製のチーズやドリンクを開発・製造し、カフェで提供。
- カフェで使用する生分解性プラスチックのカップや、乳牛の糞尿を水田の肥料として使用するほか、チーズの製造過程で大量に廃棄されていたホエイ（乳清）を活用したブラウンチーズや酵母パンを開発し、収益性向上を実現。
- 生産から販売までの幅広い取組によって、従業員の柔軟なシフト計画が可能となり、完全週休二日制を実現したことで就労希望者が増加。
- 小学生等による農場や牧場見学・体験活動を受け入れ、食に関する理解を深めるとともに、自然や人々の関わり、命の尊さについて考える機会を提供。



自社製チーズ商品

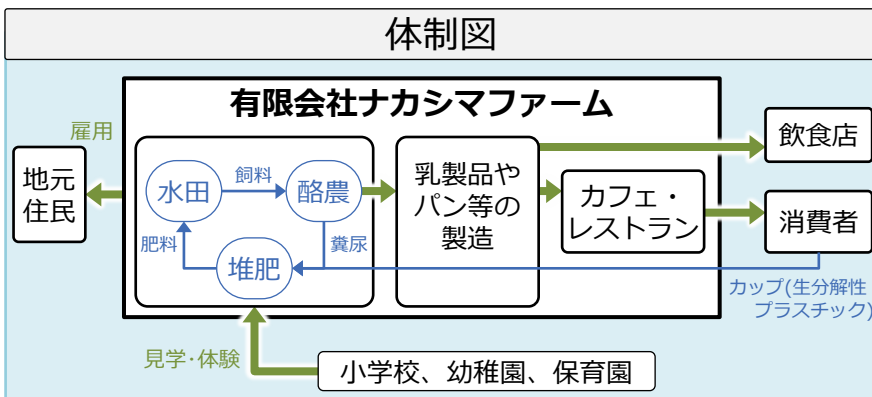


生分解性プラスチックカップ



小学生による牧場体験

### 体制図



### 取組の成果

|             |               |             |
|-------------|---------------|-------------|
| ○ 会社の売上     | ： 7,300万円（R1） | → 1.3億円（R6） |
| ○ カフェの来客数   | ： 1.2万人（R4）   | → 2.5万人（R6） |
| ○ 雇用者数      | ： 2名（R1）      | → 14名（R6）   |
| ○ 体験活動の開催件数 | ： 12件（R1）     | → 30件（R6）   |

ウェブサイト ▶ <https://www.nakashima-farm.com/>